

# 第11回 漂着物の調査 開催報告

開催日 2024年6月15日 (土)



## 1. 遠州海岸の現状説明

◎講師：Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

- ・遠州灘の位置と様子
- ・遠州灘海岸の問題点
  - ①漂着ごみ問題 →生活雑貨、発泡スチロール、プラ
  - ②不法投棄（ポイ捨てごみ問題） →缶、びん、お弁当  
たばこ、家電製品、日常生活雑貨
- ・漂着ごみによる野生生物への影響
- ・海岸の漂着ごみはどこから来るのか？
- ・私たちの責任で出来る事

## 2. 漂着ごみの調査

- ・6月8日回収@馬込川右岸河口 3袋分 **9.6kg**
- ・漂着ごみの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査  
対象45品目の個数を数えた。（破片は、直径2.5cm以上のものが対象となっています。）

### 回収量 合計714個

1位	発泡スチロール破片	294個
2位	プラスチックシートや袋の破片	126個
3位	飲料用プラボトル（ペットボトル）	75個
4位	硬質プラスチック破片	49個
5位	飲料缶	35個



## 3. 参加者の声

- ・分別する数が多くて作業が大変だった。
- ・ペットボトルが多かった。  
意外と、タバコのフィルターが少なかった
- ・アルミ缶が薄くなっていて原型をとどめていなかった。  
流れ着くまでに薄くなったのか・・・？
- ・発泡スチロールが、細かくなっているのがよく分かった。  
ある程度の大きさで回収しないと、どんどん細かくなって  
しまう。今回は、大きな形のものを拾えてよかった。

### <漂着ごみ回収作業者の声>

- ・想像していたより、ごみ量が多かった。30分という制限  
時間での回収なので拾い残したごみもあったと思われる。  
ペットボトルの量が多かった。

